イノベーションを具現化する国際共創教育プログラムの開発

1 貧困をなくそう　4 質の高い教育をみんなに　17 パートナーシップで目標を達成しよう　11 住み続けられるまちづくりを

キーワード　ものづくり／地域連携／異分野連携／異文化協働／国際連携

研究概要

日本国内における問題発見・解決型教育は、「問題の発見・解決案の創出」に教育の重点を置くものが多い。実社会におけるイノベーションには、「解決案の実装・運用」、すなわち、思考を実際に形あるものとして具現化する能力が不可欠です。

本研究では日本国内のみならず諸外国の教育機関と連携し、イノベーションを担う人材育成に必要な教育の根幹を明らかとする取り組みを続けています。また、東南アジア圏において、専門分野や文化的背景の異なる学生が協働して社会問題に取り組むという、没入型PBLプログラムを実施しています。

インドネシア・マカッサル市の農村部において実施した国際PBL教育の最終発表会の様子です。日本、インドネシア、シンガポール3ヶ国から参加した学生が2週間寝食を共にし、地域に実在する問題の解決に挑みました。

今後の展開やメッセージ

大学のみならず、小学校・中学校・高等学校との連携を進め、発達段階に応じた「思考を実際に形あるものとして具現化する能力」を涵養するプログラム開発を進めたいと考えています。

研究者情報

坂本 宗明 教授・博士（工学）

バイオ・化学部　応用化学科

所属研究所：高信頼理工学研究センター、生活環境研究所

研究者情報URL

https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/AHABH.html

https://researchmap.jp/angewandtechemie